

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	04	8514	畜産競争力強化緊急整備事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	3	生産基盤の整備			
目的	生産施設等の整備支援による畜産の生産性・収益性の向上を図る					
対象	地域の中心的な畜産経営体（法人及び法人化が見込まれる家族経営体）					
意図	畜産経営の基盤強化、地域の畜産の収益性を向上させる					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
家畜飼養管理施設整備に関する補助						
○畜産競争力強化整備事業 新たに家畜飼養管理施設の整備を行う法人等への支援措置						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 事業実施主体数	経営体		計画		2	
			実績		2	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 事業の導入により収益性が向上した事業実施主体数	経営体		目標		2	
			実績		2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
収益性の向上につながる取り組みを設定し、事業実施から5年後までに収益性を向上させることが必須要件となっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	畜産物の生産性の向上や産地拡大を推進するための支援。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	導入された施設等を効果的に活用することで、生産コストの削減や販売量の増加が可能となる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業毎に定められている要綱等に応じた負担をするものである。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	事業要綱によって受益と負担の区分が明確化されている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
意欲ある畜産経営体を支援する制度であるほか、新たな農業展開がなされることによって収益性の向上や雇用の創出等が図られるものであることから、今後も事業を推進していく。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	04	8514	畜産競争力強化緊急整備事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			224,655		224,655
財源内訳	国・県		224,655		224,655
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯
花巻市の畜産基盤の強化を図るため、中心となる畜産経営体の育成が必要である。このため、生産施設の効果的な整備により、地域の畜産の収益性の向上を図る。

事業概要
家畜飼養管理施設整備に関する補助

○畜産競争力強化整備事業
新たに家畜飼養管理施設の整備を行う法人等への支援措置

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・意欲ある畜産経営体を支援していく。

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原慶悦 内線 6-290

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◆◆◆ 3月補正 ◆◆◆

○畜産競争力強化緊急整備事業 224,655千円 (H26補正予算対応)

《畜産競争力強化緊急整備(国事業、トンネル)》

- ・目的：生産基盤の弱体化が懸念されている畜産経営において、収益性の向上を支援するため、地域の中心的な畜産経営体に対する家畜飼養管理施設等の整備を支援する。
- ・取組の流れ：地域の関係者が連携し「畜産クラスター協議会」を立ち上げ、畜産の収益性向上のための取り組みを検討、「畜産クラスター計画」を作成。同計画の県知事認定後に、国庫補助等の活用が可能
- ・事業対象：畜産クラスター計画に位置付けられた中心的経営体(法人、法人化が見込まれる家族経営体等)
- ・補助率：対象事業費の1/2以内

【H26補正対応に係る内訳】

NO	助成対象者	導入機械・施設	事業費(税込・円)	補助金(円)
1	(有) うしちゃんファーム	牛舎施設7棟、飼料庫4棟、副資材保管庫1棟、堆肥舎2棟、堆肥発酵施設3基、既存牛舎補改修2棟	654,480,000	193,923,000
2	(有) アグリファイン	育成牛舎1棟、堆肥舎1棟、飼料庫1棟	85,776,633	30,732,000
		合計	740,256,633	224,655,000